

べっぴん 市議会だより

2018.1.1

No.137

迎春

別府湾日の出



別府市議会議長
黒木 愛一郎



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

一昨年は、熊本・大分地震が発生し、市民生活や地域経済にも大きな打撃を受けました。

また、昨年は、九州北部豪雨や台風18号により県南地域は甚大な災害に見舞われるなど復旧・復興の途上であり、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、幸いにも人的被害はございませんでしたが、実効性のある防災体制の確立に繋げていかなければならないと思っております。

そして、災害時の市議会の行動指針(議会BCP)の策定等々、ますます開かれた市議会を目指し、全議員が総力を挙げて、市民の皆様が身近に感じられる議会活動に取り組んでまいります。

私も議長就任以来、一三元代表制の一翼を担う議会の円滑な運営、さらには議会の活性化と開かれた議会、信頼される議会の確立のため、全力投球してまいりました。

そして、市執行部と連携をとりながら、議員全員が一丸となり、更なる議会活動と市政への反映へ繋げてまいります。

本年も「住民と一緒に地域の課題を考える」を基本に、市民に信頼される議会をめざし、議会の最高規範となる議会基本条例をもとに、「議会の見える化」、「議員の見える化」を推進いたします。

結びに、この一年が市民の皆さま方にとりまして、希望あふれる輝かしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

各会派から 年頭の ごあいさつ

自民・創生

野口 哲男 江藤 勝彦
三ヶ尻正友 国実 久夫
萩野 忠好 安部 一郎
阿部 真一

観光振興と、災害に強いまちづくり

明けましておめでとようございませす。一昨年は熊本・大分地震により市内も大きな損壊を被り、昨年県下は大水害に見舞われました。被災地、被災者の皆さま方の一日も早い復旧、生活再建を心からお祈り申し上げます。

観光にも大きな影響をもたらした、風評被害、予約キャンセル等が生じましたが、国の支援策や行政と議会も迅速に各種施策を実施、安全安心、元氣な別府市をアピールし、おかげさまでもちまして短期間で一定の復旧を果たすことができました。その後「湯く園地」等メディアへの対応

も大きく、PR効果も百億円以上とも言われております。今後はこれで立ち止まることなく、ラグビーワールドカップ、オリンピック、パラリンピックのキャンプ誘致や、観光客対応等、官民あげて取り組み、更なる観光振興を図るため、市議会としても全力で取り組みたいと考えております。

今後は地方創生の深化に向け、少子高齢化対策、子育て支援、移住定住促進、特に若者の定住促進のため、儲かる起業の推進等に取り組み、併せて安全安心な明るいまちづくりに尽力する所存でありますので、皆さま方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今年一年の皆さま方のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。

新風べっぴん

山本 一成 松川 章三
野上 泰生 森 大輔
小野 正明

議員の原点に戻って

新年あけましておめでとようございませす。市民の皆さまにはお健やかな新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃から私どもの活動に対しての温かなご支援を頂き、御礼申し上げます。

さて、昨年も地方議員の残念な事柄が多く報道されました。このような報道がなされるたびに、市民の皆さまにとつて、地方議会議員の果たす役割を真摯に伝えていくことの必要性を痛感しています。

私たちは、市民福祉の増進という共通の目的を達成するために、市長率いる執行部と緊張感をもって対峙し、良いものは良い、悪いものは悪いと言える姿勢で臨みます。

また、市民の皆さまとの対話を通じて、地域の実情に即した政策提言を実行していきます。

最後になりますが、市民の皆さまのご多幸とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

公明党

市原 隆生 堀本 博行
荒金 卓雄 穴井 宏二

徹して！市民本位の政策を

明けましておめでとようございませす。市民の皆さまには平素より温かいご支援、ご指導をたまわり厚く御礼申し上げます。

昨年は県内各地で未曾有の豪雨災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災された方々に対し心からお見舞いを申し上げますとともに

一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。幸いにも別府市内で大きな被害はありませんでしたが、改めて切れ目のない災害対策の重要性を感じています。

公明党は「大衆とともに」との立党精神を掲げ、声なき声にも耳をかたむけながら市民の生活を守ってまいりました。今後とも、市議団四名が団結第一で、教育や福祉の充実をはじめ、市民本位の政策実現に向け、更なる研鑽を重ねながら力を尽くして参りたいと決意しています。

平成30年が皆さまにとりまして、幸多き素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

市民クラブ

加藤 信康 森山 義治
三重 忠昭

別府市飛躍の年に

新年明けましておめでとようございませす。

統一地方選挙での信任をお受けしてから、早くも3年が経とうとしています。この間の議員活動に対するご支援ご協力を、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、衆議院選挙が終わり、国民は政権の継続を選びました。しかし決して白紙委任したわけではないと

いうことは多くの人々が思っているのではと感じます。早い段階でこの別府市にも景気上昇の波が来てくれることを願うばかりです。

別府市政もこの3年間、長野市長の若さと行動力で走ってきたと感じています。「湯ヶ園地」や「ONSENアカデミア」に見られるように、「観光温泉都市別府」を世界に発信したことは、後々に必ず良い結果が生まれると評価しています。今後、市民生活、市民福祉にもこれまで以上に目を向けていただき、市民の明るい声が響きわたる別府市へと導いてもらいたいものです。私たち議会としても助言、提言をしっかりと行い、真の「国際観光温泉文化都市別府」となるよう、与えられた役割を果たしてまいりたいと思います。

今年一年が、市民の皆さまにとって平和で、実りある年になりますようご祈念し、新年のごあいさついたします。

自民クラブ

河野 数則 首藤 正

民意・直接市民からくみ取る年に

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は「市民と議会との対話集会」など議会の諸活動にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新しい年を迎え日本の政治も人生100年時代に適合した財政・社会保障のほか、日本経済が抱える諸課題に対して民意をどのように取り取っていくかが、今年の日本政治の関心ごとであるでしょう。地方議会の地盤沈下が指摘される中において、別府市議会は「新しい観光施策の対応」「高齢化への対応」「少子化対策」「行政力の向上」「財政の健全化」など多くの課題が山積しています。このような問題解決には、市民と議会の距離をぐっと縮めることが第一であります。議会は市民の近い立場から柔軟な議論を通じて、今の市議会にないものを生み出し、行政にも気づきを与える年にしていきたいと願っています。

議員として「彫心鏤骨」をいとわず進みますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

志士の会・自民

松川 峰生 黒木愛一郎

活力ある別府に

新年あけましておめでとうでございます。市民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は28年に発生した熊本・大分地震による被害に対し市政の最重要

課題とし、復旧・復興に行政・議会が一体となって取り組んでまいりました。特に別府の基幹産業であります観光関連では風評被害等で厳しい経営環境でしたが、国の支援もあり、地震の前までに回復することができました。さらに元気な別府を発信する『湯ヶ園地構想』を実現可能にし、全国各地より多くのお客様に訪れていただき、別府の名前を発信することができました。今年も厳しい財政状況ではありますが、行財政改革を推進しながらも防災強化と地域力を強め、安心・安全のまちづくりに努めてまいりますので、皆様の一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

日本共産党議員団

平野 文活

市民の暮らしが一番

新年あけましておめでとうでございます。新しい年がみなさまにとつて幸せな年でありますように心から祈念いたします。

昨年は突然の総選挙があり、私たち日本共産党がすすめてきた「市民と野党の共闘」は大きく成功しました。しかし、その一方で日本共産党は後退する結果となり、私たちの力不足を痛感しています。

今年も市民の暮らしを守る政治の実現をめざしてがんばります。

また昨年12月には竹内義浩議員が離党し、日本共産党議員団は私一人となりました。大変残念なことです。一人でも二人分の活動をするつもりで、今年も市民のみなさんの切実な声を届けていきたいと、あらためて決意をしております。

今年も市民の暮らしを守る政治の実現をめざしてがんばります。



新風べっぶ



野上 泰生



松川 章三



山本 一成



国実 久夫



三ヶ尻正友



江藤 勝彦



野口 哲男



小野 正明



森 大輔



阿部 真一



安部 一郎



萩野 忠好

市民クラブ



三重 忠昭



森山 義治



加藤 信康



穴井 宏二



荒金 卓雄



堀本 博行



市原 隆生

公明党

桃花善心の会



竹内 善浩

日本共産党議員団



平野 文活

志士の会・自民



黒木愛一郎



松川 峰生

自民クラブ



首藤 正



河野 数則

虚礼廃止にご理解と協力を
政治家は、選挙区内にある方
に対し、答礼のための自筆に
よるものを除き、年賀状など
の時候のあいさつ状（電報な
ども含まれます。）を出すこと
は禁止されています。

別府市議会ホームページのご案内

市民に開かれた議会の実現のため、ホームページでは、市議会議員の紹介、議会中継、議事録の検索、「市民と議会との対話集会」の報告など多くの情報を掲載していますので、是非ご覧ください。

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>